**令和６年度　第４回青森県特別支援学校総合スポーツ大会**

**「チャレンジボッチャ競技」実施要項**

１ 期　　間 　　令和６年７月１日（月） ～　令和６年７月１９日（金）

２ 会 場 　　エントリー生徒在籍校体育館　他

３　競技方法 　　 個人戦　　　※八角的を使用し、合計点数を競う。

４　競技規則

（１）エントリー対象

　　・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒を対象とする。

　　・1名につき１競技にエントリーが可能であり、ボッチャ競技にエントリーしている生徒は不可とする。

（２）クラス分け

①　２ｍクラス…八角的からの距離が２ｍの位置から投球する。（投球数：３球）

②　４ｍクラス…八角的からの距離が４ｍの位置から投球する。（投球数：５球）

（３）競技ルール

　　①　選手

・審判が投球指示を出す前に投球してはならない。

・投球時、スローイングラインに体の一部や車いす等のタイヤが触れてはならない。投げた手がライン上空を越える等はよい。

・投球時、ランプの先はスローイングラインより前に出てはならない。

　　　・投球時、臀部が車いす等のシートから離れてはならない。

　　②　スポーツアシスタント

・車いす等使用者のうち、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な選手及びランプを使用する選手１名につき、スポーツアシスタントは２名まで認められる。

・選手の位置調整、車いす等位置調整、ボール手渡し、ランプ位置調整、ボール回収等ができる。ただし、１名はランプの調整等をし、もう１名は選手の支援をすることとする。

・スローイングラインから出ることはできない。

・選手への戦略的アドバイスを送ることはできるが、スポーツアシスタント同士でコミュニケーションをとってはならない。

・ランプ位置を調整するスポーツアシスタントは、競技中はプレイングエリアを振り返ることはできない。

③　競技方法及び得点

・１名の持ち玉は、２ｍクラスは３球、４ｍクラスは５球とし、投げる・転がす・蹴る等して得点を競う。

・連続して持ち玉全てを投球し終えた時点での合計得点を競う。得点は審判が真上から見て判定し、八角的の中心から３点２点１点とし、八角的から外れた場合は０点とする。各得点エリアに少しでもかかっていれば大きい方の得点とする。

・八角的まで届かなかったボールは、それ以後の投球の妨げにならないよう平行移動させておく。

　・ボールは全て投球し終えて、得点が確定後に回収する。

④　コート

４ｍ　　　２ｍ　　　０ｍ

　　　・右図のコートを使用する。

　　⑤　使用するボールは、各校にあるものを使用する。

　　⑥　ランプは、各校にあるものを使用する。

　　　　また、自作の物を使用してもよいこととする。

（４）記録認定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ２ｍクラス（点） | ４ｍクラス（点） |
| １級 | ８～９ | １３～１５ |
| ２級 | ６～７ | １０～１２ |
| ３級 | ４～５ | ６～９ |
| ４級 | ２～３ | ３～５ |
| ５級 | ０～１ | ０～２ |

　　①　右表のとおり級を認定する。

　　②　各校はエントリー人数を７月８日（月）までに

ボッチャ専門部主幹校に連絡をする。

　　③　記録用紙（※様式３）は各校で記入を行う。

　　④　チャレンジボッチャ競技終了後、各校は記録用紙

　　　　を７月１９日（金）までにボッチャ専門部主幹校

に提出する。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 【ボッチャ専門部主管校】  　青森県立弘前第二養護学校内  　委員長　　佐野佳奈恵  　ＴＥＬ　　0172-97-2511  　ＦＡＸ　　0172-97-2511  Ｅ-mail 2020ases008@gmail.com |

４ｍ　　　　２ｍ　　　　０ｍ